

第60回名犬大祭を振り返って

イブや各サークルの発表、花火大会に加え、学生模擬店やキッチンカー、各学科ブース、名寄高校とのコラボ企画であるスタンプリリーなど多くの企画を準備し当日を迎えました。

当日は30度を超える暑さのなか、私たちの想定をはるかに超える多くの方々にご来場いただき、第60回名犬大祭は大成功で幕を閉じました。私は今年度の大学

祭に実行委員長という立場から関わり、「温故創新—進めよさらばひらかれん—」のテーマの下、企画運営を行ってき

ました。今年はコロナの制限もかなり緩和され、新しいスタートを切ることができました。私が実行委員長として大事にしてきたことは「前例にとらわれず自分たちのやりたいという想いに正面から向き合い、それを実現

できる方法を考えること」です。

今年は、コロナ前の規模に戻しての開催ということに加え、4年前の大学祭を知る学生がいないという状況の中で、今までにやったことがないような企画にも挑戦することは簡単なことではありませんでした。

動いていたことで、最終的にたくさんの方の企画と各学科ブースなど新たな試みを成功させることができました。

当日を迎えるまでたくさんの方の壁にぶつかりましたが、それ以上の楽しさ・面白さや感動がありました。会場には美味しい食べ物があって、パフォーマーや楽しんでくれる人で賑わっているという光景を見たとき、私たち



が準備をしながら目指し思い描いていたものが目の前にあるような気がして様々な想いで胸がいっぱいになりました。

数年止まっていたものが動き出す最初の年という一生に何度もない機会に実行委員長として最高の仲間と共に運営に携

われたことを心から嬉しく思います。最後になりました

が、当日ご来場いただいた皆様、大学祭の開催に向けてご尽力いただいた全ての皆様にご礼申し上げます。社会保育学科2年 関 智穂